# 真理子先生の 女性のミカタ

## 妊娠をめぐって…

伊藤 真理子

●（いとう・まりこ）1986年山形大学医学部卒業。山大病院、篠田病院を経て2005年6月に真理子レディースクリニックを開業。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医。

アフターピル、子宮内避妊リング、経口避妊薬など、現在は妊娠を望まない方々の避妊方法はこれまでに何回かご紹介してきました。

### 避妊とライフスタイル

避妊は望まない妊娠を避けるために必要なことはもちろん、心から望む時に妊娠するためにも必要なことだと私は思います。結婚をするもしないも、子どもが欲しいか欲しくないかも選択は自分の意思で決められる時代です。妊娠や出産の時期もライフスタイルに合わせて選ぶことが可能です。

### 「なかなか授からない」

その一方、そろそろ赤ちゃんが欲しいのになかなか授からないという人もいらっしゃいます。私どもで八方手を尽くしても力及ばず、診察室で涙を流す方々を目の当たりにする時、申し訳ないという思いやもどかしさで私どもも切ない気持ちになります。

### 周囲からの重圧が

私が気になっているのが、妊娠を期待する周囲の声に参ってしまう方が多いことです。「お子さんはまだ？」「2人目はつくらないの？」といった言葉がそれで、口にするご本人にはまったく悪意はないのですが、言われた御夫婦は深く傷ついてしまう場合が少なくないのです。特に女性にはその声掛けが精神的な重荷になるようです。

### ご両親にお願い

特に重荷になりがちなのがお孫さんを待ち望むお舅さんやお姑さんからの言葉。お気持ちはわからないではありませんが、なるべくならそっとしておいてあげて欲しいとお願いするばかりです。

もし待ち遠しいあまり言葉になさりたいなら、ご自分の実の息子さんに直接どうぞ。実際、子どもが授からない原因は男性の方にある場合が多いのです。それなのに検査に応じる男性は少なく、女性の苦しみは深まるばかりです。